

P……植物自然充実度

A……動物自然充実度

L……自然景観充実度

注

① P, A, Lは四捨五入による小数第2位までの数値を算式に投入した(P>A, Lの場合は(A-P), (L-P)は0とする)。

② $n \geq n' + n''$ とすることによって $1 \leq \text{自然環境質指数} \leq 10$ の中とした。

③ n' と n'' 及び n に変化を持たせることによって、3項目が質指数に及ぼす影響にそれぞれの差をつけるようにした($n'=5$, $n''=1$, $n=6$)。これは、本県の自然環境の現状等に照らして設定したものである。

3. 自然環境質指数の分布

自然環境質指数の最も高い「9」～「10」の地域は、奥羽山脈と南三陸海岸の2地域に分布している。その中でも「10」の地域は奥羽山脈の栗駒山、禿岳、船形山、面白山、大東岳、神室岳、雁戸山から不忘山にかけての蔵王連峰一帯、及び、峠田岳となっており、「9」の地域は、それを取り囲むように分布しているほか、伊豆沼、丸森町窓ノ倉などにもみられる。沿岸部は、蒲生、金華山島、足島などとなっており、蒲生、金華山島を除いて、ほとんどが無人島や人為的介入のほとんどない地域である。これらの地域の大半は、自然公園などに指定されて保護されているが、一部未指定地域もある。

仙台から塩竈にかけての市街地は「1」、大崎、登米、名取などの農耕地帯は「2」～「3」、黒川、北上山地、栗原などの里山地帯は「4」～「7」となっており、松島は名勝地であるにもかかわらず、人為的介入があるため、「7」以下の地域もある。

メッシュ区分における自然環境質指数の分布状況

質 指 数	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	計
メッシュ数	407	1,381	539	689	1,531	922	812	528	901	75	7,785
割 合 %	5.2	17.7	6.9	8.9	19.7	11.9	10.4	6.8	11.6	0.9	100.0

自然環境質指数「8」以上の地域は、29.8パーセントと、県土全域の3分の1に近い面積に及

んでいる。このように
積が狭く、かつ、都市
ばならない。

なお、この自然環境
植物群落や河畔植生な
ものは、必ずしも自然
ような評価度の高い植
全国的にみても高い水

第4節 環境

1. アメニティとグリ

自然環境を適切に保護
するとともに、その限
糧を得るため、さまざ
いても、さらに、将来
量的な把握のみならず、
ある。

われわれが日常、
どよりも、むしろ、自然
防災などの面からも重要
については、計画的に実施

今日、「生活の質」の
いる。従来までの環境行
環境の質の向上、すなわ
チの主要な要素として
する方途を講じていく

自然環境の利用に当た
典に基づいて慎重に進め
等を参考として、「グリ